

## 経営改善目標の達成に向けた取組状況

### 1 法人の概要（令和元年7月1日現在）

法人名	(公財)神奈川県暴力追放推進センター						
設立年月日	平成4年6月1日	代表者名	池田 忠正				
所在地	横浜市中区海岸通2-4	神奈川県警察本部	電話番号	045-201-8930			
基本財産等	500,000,000	円	県出資額	250,000,000	円	県出資率	50.0 %

### 2 法人運営における現状の課題

近年の各業界の暴力団排除に関する積極的な取組みによって、社会的にも暴力団排除意識が広く浸透しつつあり、センターの行う各事業の重要性が年々高まってきている。また、全国的な暴力団員の減少に併せて、離脱者の社会復帰対策が今後の課題となってきた。

### 3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

\* 項目ごとに、下段の( )内に目標を、上段に実績を記載してください。

#### 【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	年度	年度	30年度自己評価
1	ホームページ閲覧者数	件	6,964 ( 2,380 )	10,998 ( 2,400 )	( 2,420 )	( )	( )	A
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	定期的な内容の更新に努め、各種暴力団排除講演等においても積極的にホームページの広報を実施した結果、昨年度を大きく越える閲覧者数の増加に繋がった。				セキュリティの強化を図り、サイトの改ざん等の防止に努める。また、引き続き、積極的な広報を行い、閲覧者の増加を目指す。			
	備考							

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	年度	年度	30年度自己評価
2	暴排講話の実施	件	23 ( 23 )	25 ( 24 )	( 25 )	( )	( )	A
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	4月26日開催の神奈川県企業防衛対策協議会定時総会など25件の会合等において、暴力団排除に関する講話等を実施した。				各業界の暴力団排除気運の高まりを後押しすることができるよう、事業者のニーズに沿った内容の講話等を行っていく。			
	備考							

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	年度	年度	30年度自己評価	
3	責任者講習受講者数	人	2,276 ( 2,010 )	2,521 ( 2,020 )	( 2,030 )	( )	( )	A	
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	効率的に講習を実施し、昨年度の受講者数を245人上回ることができた。				引き続き講習内容の充実を図り、より多くの不当要求防止責任者に対する講習を実施して、不当要求被害の防止に努める。				
	備考								

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	年度	年度	30年度自己評価	
4	暴排キャンペーンの支援	回	3 ( 3 )	6 ( 3 )	( 3 )	( )	( )	A	
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	改正神奈川県暴力団排除条例の広報を兼ねて、川崎駅地下街やJR桜木町駅前等において、合計6回の暴力団排除対策キャンペーン等を支援した。				地域暴力団排除組織に対する交付金を効果的に配布するなどし、その活動を積極的に支援して、県内各地域における暴力団排除活動の活発化を図る。				
	備考								

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	年度	年度	30年度自己評価	
5	暴力団離脱者支援 (刑務所における説明会)	回	2 ( 2 )	3 ( 2 )	( 2 )	( )	( )	A	
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	6月18日、10月15日、平成31年3月26日の3回、横浜刑務所において、暴力団組織離脱希望者に対し、離脱指導を実施した。				神奈川県暴力団排除条例が改正されて、暴力団からの離脱促進の規定が追加されたことを受け、行政機関等と連携した暴力団離脱者の社会復帰支援への取組みを進めていく。				
	備考								

### 【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	年度	年度	30年度自己評価	
1	寄付金等収入の確保	万円	478 ( 270 )	455 ( 275 )	( 280 )	( )	( )	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	昨年度より寄付金等収入の総額は減少したが、賛助会員は36会員増加した。				今後も、自主財源の安定化を目指して、賛助会員の募集を呼びかけ、継続的な会員の増加に努めていく。				
	備考								
(H29) 賛助会費 353万円 寄付金等 125万円				(H30) 賛助会費 427万円 寄付金等 28万円					

#### 4 取組実績等についての総括（法人）

計画的な各種業務への取組みの結果、すべての経営改善目標を達成することができた。  
 平成30年7月1日から施行となった改正暴力団排除条例を広く県民に周知させるため、警察署の協力を得て、暴力団排除キャンペーンを積極的に行った。  
 また、平成28年度から継続している厚木市内に所在する六代目山口組系暴力団事務所の使用差止請求訴訟についても、関連施設を撤去させるなど、一定の成果を取めた。  
 自主財源の確保を目的として導入した賛助会制度についても、順調に会員を増やすことができおり、今後も安定した自主財源の確保へ向けて継続的な会員の増加に努めていく。

#### 5 取組実績等についての総括（所管課）

いずれの項目においても目標を達成できたことは評価する。  
 特に、不当要求防止責任者講習等、様々な機会を捉えて、広くホームページの広報を実施したことで、昨年度より、大幅に閲覧者数が増加したことは極めて評価する。  
 引き続き、ホームページを通じて、県民のニーズに応えた最新の情報を発信できるよう所管課からも積極的に情報提供を行っていく。  
 今後も県警察、神奈川県弁護士会との緊密な連携を保持し、効果的な暴力団排除活動を推進していくことを期待する。

#### 6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	概ね着実に取組が進められている。
A	